



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151(代表)

担当者の所属・氏名

聖路加国際病院 麻酔科/東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
武石健太

【研究責任者】

聖路加国際病院 麻酔科/東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
武石健太

当院でオフポンプ冠動脈バイパス術を受けた方を対象とした

手術中の輸液製剤に関する研究

1.研究の対象

2012年4月から2021年3月に当院でオフポンプ冠動脈バイパス手術を受けられた方

2.研究の目的・方法

一般に手術後に腎機能が悪くなることがしばしば問題になります。腎機能が悪くなる原因は様々ですが、特に心臓手術の後に腎機能悪化があった方は一時的に血液透析が必要になったり死亡率の上昇にも関係したりしているといわれています。

手術中に用いられる輸液製剤として様々な製剤があり、今回その製剤の違いと手術後の腎機能の関連を調査することで、特定の輸液製剤(ボルベン®：ヒドロキシエチルデンプン)のメリットとデメリットを明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》氏名、カルテ番号、年齢、身長、体重、既往歴、内服薬、血液検査データ、手術時間、副作用等の発生状況、カルテ番号、術前心機能、手術記録、急性腎機能障害の発生頻度、術後凝固能異常の有無等

《試料》

なし

4.外部への試料・情報の提供

・本研究は聖路加国際病院でのみで行い、他施設への試料・情報提供の可能性はありません。

5.研究組織

- ・本研究計画者は東京医科歯科大学大学院にも在籍しており研究成果を東京医科歯科大学内で発表する可能性があります。
- ・東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 心肺統合制御学 内田篤治郎 教授